

「CO₂の見える化」を促進する カーボンフットプリントって何?



ボクがナビゲートするね



カーボくん



パパ



ママ



おねえちゃん



まなぶくん

カーボンフットプリントとは?

私たちの便利な暮らし。それを支えている製品(商品・サービス)は、つくられてから、捨てられるまでのライフサイクル全体を通して、地球温暖化の原因となるCO₂を排出しています。カーボンフットプリント (Carbon Footprint of Products) は直訳すると、「炭素の足跡」。製品のライフサイクル全体で排出された温室効果ガス排出量を合算し、それをCO₂排出量に換算して表示したものです。

缶飲料の例では…



原材料の調達

- アルミ缶製造
- 原材料の栽培



生産

- ジュース製造
- パッケージング



流通

- 輸配送
- 冷蔵輸送
- 販売



使用・維持管理

- 冷蔵



廃棄・リサイクル

- 空き缶収集
- リサイクル処理

たとえば、みかんジュースの場合は、みかんを栽培したり、アルミ缶を製造する工程でもCO₂が排出されているんだよ

ジュースを作る工程でもCO₂が排出されるね

お店に運ばれて販売されることも、製品のライフサイクルのひとつだね

買ってすぐには飲まないから常温で買って冷蔵庫で冷やすよ

飲んだら終わりではなく、空き缶を捨てた後にもCO₂は排出されているのね

2人とも製品のライフサイクルに関わっているんだね



CO₂排出量

18.5g



CO₂排出量

30.8g



CO₂排出量

43.1g



CO₂排出量

18.5g



CO₂排出量

12.1g



123g
CO₂

カーボンフットプリント
＝ 製品のCO₂排出量
123g

※数値は全て仮定です

カーボンフットプリントはどうして生まれたの？

日本では、京都議定書で2012年までに、国内のCO₂排出量を1990年比で6%削減することを約束しています。この目標を達成するために「CO₂の見える化」を促進するひとつの方法として、カーボンフットプリントが誕生しました。製品のライフサイクルには、製造する事業者だけでなく、原材料の調達、生産、流通・販売、廃棄・リサイクルの段階などで多くの事業者が関わり、とりわけ、私たち生活者もその製品を使用し、廃棄・リサイクルする段階で関わっています。カーボンフットプリントは、製品をテーマに、事業者だけでなく私たちと一緒に、CO₂排出削減に向けて考え、取り組んでいくためのツールなのです。

家庭でも、地球のためにできることから始めなくちゃね

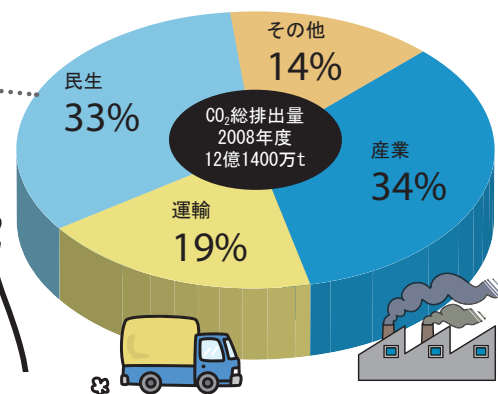
オフィスなど
業務部門 19%



家庭部門 14%



CO₂の総排出量の内訳(2008年度)



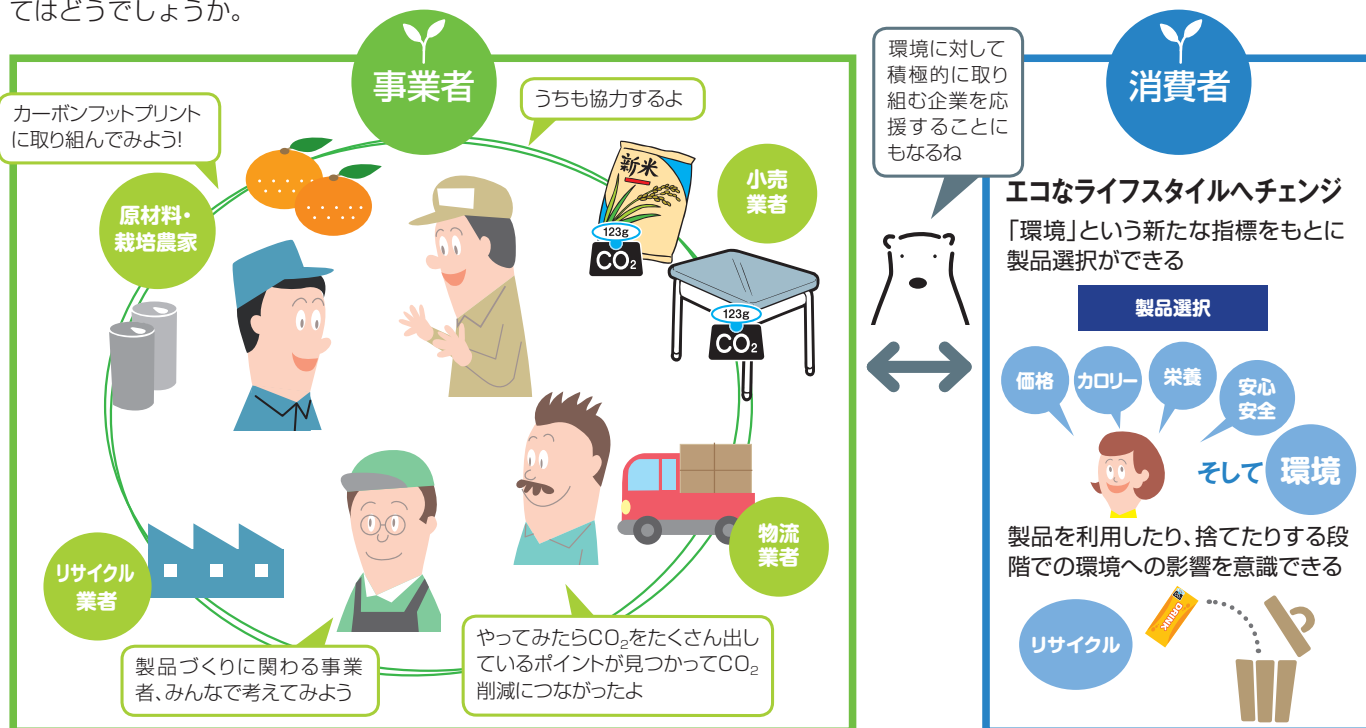
家庭でのCO₂排出量
もけっこう多いんだよ

CO₂が見えたら、
わかりやすいね

出典:環境省「平成20年度(2008年度)の温室効果ガス排出量(確定値)について」

カーボンフットプリントで何が変わるの？

カーボンフットプリントマークにより、私たちは、「環境」という新たな指標をもとに製品を選択できるようになります。また、自分たちが製品に関わる段階での環境へ与える影響を意識するきっかけにもなるでしょう。たとえば、エコバックを持ち歩いたり、こまめに電気を消すのと同じように、エコなライフスタイルへチェンジするための選択肢が増えると考えてみてはどうでしょうか。



このチラシを家族やお友達に見せて、自分たちで何ができるか考えてみよう

カーボンフットプリントに関する情報はこちら
▶ <http://www.cfp-japan.jp/>

お問い合わせ先

■ CFP制度試行事業事務局 (みずほ情報総研)
TEL: 03-5281-5285 FAX: 03-5281-5466
〒101-8443 東京都千代田区神田錦町2-3 e-mail: carbon-footprint@mizuho-ir.co.jp

■ 経済産業省 環境調和産業推進室
TEL: 03-3501-9271 FAX: 03-3501-7697
〒100-8912 東京都千代田区霞が関一丁目3番1号 e-mail: qqgdbg@meti.go.jp